

## 提出書類チェックシート

- \* 提出書類について欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。  
本チェックシートは、応募1件につき1枚のシートでチェックして下さい。

公募名	光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発 (最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点形成)
-----	---

提案機関名	
-------	--

事務書類	
<input type="checkbox"/> 提出書類チェックシート (本用紙)	本用紙

提案書類 (日本語で記入)		
<input type="checkbox"/> 提案書 <input type="checkbox"/> 拠点構想・概要 <input type="checkbox"/> 拠点構想・詳細 <input type="checkbox"/> ミッションステートメント <input type="checkbox"/> 実施体制図 <input type="checkbox"/> 拠点計画 (委託費充当分) <input type="checkbox"/> 拠点構想及び拠点計画の年次計画概要 <input type="checkbox"/> 所要経費の見込み <input type="checkbox"/> 研究機関データ <input type="checkbox"/> 研究者データ		様式 1 様式 2 様式 3 様式 4 様式 5 様式 6 様式 7 様式 8 様式 9 様式 10

- すべて日本工業規格A4版とし、「Word」又は「PDF」のいずれかの形式にて作成して下さい。また、正確を期すため、判読しやすいものとして下さい。
- 提案書には通し番号(様式1から1/○とし、以降2/○、3/○とする通しページ)を中央下に必ず打って下さい。
- 様式1、様式3、様式4、様式6から様式10については、特に枚数に制限はありませんが、できるだけ簡潔かつ明瞭に記述して下さい。
- カラーで作成いただいても構いませんが、審査等の際には白黒コピーで対応します。
- アップロードできるファイルの最大容量は3MBまでです。複数のファイルをアップロードすることはできません。
- 提案書に貼り付ける画像ファイルの種類は「GIF」、「BMP」、「PNG」形式のみとして下さい。それ以外の画像データを貼り付けた場合、正しくPDF形式に変換されません。

(様式1)

**提案書**  
(最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点形成)

1. 提案構想

提案構想名	(提案構想名は20字以内とし、サブタイトルはつけないこと。また、提案後の構想名の変更は基本的に認めないので注意すること。)
実施予定期間	平成20年7月～平成○年3月まで
実施予定規模	【直接経費】初年度：○百万円、総額：○百万円 【間接経費】初年度：○百万円、総額：○百万円(直接経費×0.3) 【合計】初年度：○百万円、総額：○百万円 ※原則として年間3～5億円程度(間接経費を含む)とする。
幹事機関名	
提案者名	
参画機関名	※幹事機関以外のすべての参画機関名を記載すること。
拠点構想の概要 (300字以内)	何を目的としてどのような拠点形成に取り組むのかについて記述して下さい。 ※様式2～5の記述内容との整合性を確保すること。

2. 幹事機関の拠点責任者等

幹事機関	所属研究機関コード											
	機関名											
拠点 責任者	研究者番号											
	ふりがな 氏名 (性別)	(男・女)				生年月日			西暦 19 年 月 日 ( 歳) ※2008年4月1日現在の年齢			
	機関・所属部署名							役職名				
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇－〇〇〇〇－〇										
	TEL.							FAX.				
	E-mail:											
	所属機関 の区分	所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記述して下さい。(独法、国研=「官」、大学=「学」、民間=「産」)						エフォート(年間全業務時間を100%とした際の当該研究に割く時間配分率) ●%				
事務連絡 担当者 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名					役職名						
	機関・所属部署名											
	事務 連絡先	〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇－〇〇〇〇－〇										
	<small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	TEL.						FAX.				
	E-mail:											

3. 幹事機関以外の参画機関の研究責任者

参画機関	所属研究機関コード									
	機関名									
研究責任者	研究者番号									
	ふりがな 氏名						生年月日		西暦 19 年 月 日 ( 歳) ※2008年4月1日現在の年齢	
	機関・所属部署名						役職名			
	ふりがな 所在地		〒○○○-○○○ ○○県○○市○○町○○-○○○-○							
	TEL.					FAX.				
	E-mail:									
	所属機関 の区分		所属機関が「産」「学」「官」のいずれに該当するか記述して下さい。(独法、国研=「官」、大学=「学」、民間=「産」)				エフォート(年間全業務時間を100%とした際の当該研究に割く時間配分率) ●%			

注) 幹事機関以外の参画機関が複数の場合には、欄を追加してすべての機関について記載して下さい。

(様式2)

## 拠点構想・概要 (A4用紙2枚以内)

○提案構想名 「 」  
○拠点責任者名 「 」  
○幹事機関名 「 」  
○参画機関名 「 」

(実施予定期間：平成20年度～平成○年度)

※様式3の記述内容を要約し、記載して下さい。

### 機関の現状 (様式3 1. を要約すること)

以下の観点について、各機関の現状について記述して下さい。

- ・各機関における研究ポテンシャルの現状、欧米との比較等
- ・幹事機関における研究開発・人材育成の実績
- ・その他の参画機関における研究開発・人材育成の実績 (人材育成については当該プログラムを実施する機関のみ)

### 拠点構想 (様式3 2. を要約すること)

以下の視点を踏まえて拠点構想の概要を記述して下さい。

- ・ネットワーク研究拠点における将来ビジョン
- ・ネットワーク研究拠点の運営体制  
(各参画機関間の分担関係の構築及びポテンシャル結集方法、連携・協働体制の運営方法、研究者・技術者の確保方策、ユーザー研究者や民間企業等の協力・参加形態、情報共有・発信体制、研究成果の取扱いの方針等)
- ・研究開発内容 (3期構成による具体的な研究内容、関連分野の国内外の研究開発動向、研究開発の必要性・重要性・将来性や妥当性・実現可能性等)
- ・人材育成 (人材育成プログラムの実施機関の役割、人材育成の達成目標、人材育成のための具体的な仕組み、育成された人材の活用方策等)
- ・既存光源等の供用 (供用する光源等の種類・性能、利用ニーズ、支援体制等)
- ・他の機関への波及効果

### ミッションステートメントの概要 (様式4 (2)～(4)の内容を要約すること)

拠点構想の実現に当たって、第1期終了時(3～4年目)、第2期終了時(7年目)及び終了時(10年目)の具体的な達成目標について記述して下さい。

\* 目標については、可能な限り定量的な目標を記述して下さい。

### 実施体制の概要 (様式3 5. 及び様式5の内容を要約すること)

責任体制・役割分担、参画機関間の有機的連携を図る手法等について、簡潔に記述して下さい。

(様式3)

## 拠点構想・詳細

○提案構想名 「  
○拠点責任者名 「  
○幹事機関名 「  
○参画機関名 「  
(実施予定期間：平成20年度～平成○年度)

以下の項目ごとに整理して記述して下さい。なお、枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載して下さい。

### 1. 機関の現状

(記述内容)

- (1) 各機関の有する研究ポテンシャル（欧米との比較を含む。）の内容
- (2) 幹事機関における研究開発及び人材育成の実績（データがあるものについては過去3年分を示して下さい。）
- (3) その他の参画機関における研究開発及び人材育成の実績（データがあるものについては過去3年分を示して下さい。人材育成については当該プログラムの実施機関のみ記述。）

### 2. 拠点構想の内容

(1) ネットワーク研究拠点における将来ビジョン

(記述内容)

- ・ ネットワーク研究拠点において取り組む研究開発・人材育成等から、10～15年といった長期的視点で見込まれる新しい光の革新的利用法等について具体的に記述

(2) ネットワーク研究拠点の運営体制

(記述内容)

- ・ ネットワーク研究拠点への参画機関相互間で効果的な連携・協働体制を構築するために、以下の視点について具体的にどのような方策を講じるのかを記述
  - ① ネットワーク研究拠点への参画機関による、それぞれの特色を生かした分担関係の構築とポテンシャル結集方法
  - ② 連携・協働体制の運営方法（幹事機関によるリーダーシップ・マネジメントの方法、全参画機関での合意形成方法等）
  - ③ 研究者・技術者の確保方策（主要な要素技術等に関して国際的に高い実績を有する研究者・技術者を確保する仕組み）
  - ④ 研究開発フェーズの進展に応じて、ネットワーク研究拠点への参画機関や参加研究者等を追加・変更できるような柔軟なネットワーク研究拠点の形成方法
  - ⑤ 光の利用研究や産業界の動向を把握しつつ、効果的にユーザー研究者等を巻き込むための方法

- ⑥民間企業の協力・参加形態（研究開発フェーズに応じて段階的にコミットメントが得られる見込みがあるか）
- ⑦研究成果の取扱いの方針や機密情報保持のための方策
- ⑧その他

幹事機関以外の参画機関が1機関である場合には、拠点構想の実現に向けて、過不足がないことについて記述。参画機関が6機関以上である場合には、拠点構想の実現に向けて、混乱が生じないことについて記述。

### (3) 研究開発内容

(記述内容)

- ・ 以下の視点について具体的に記述
  - ①ネットワーク研究拠点で取り組む研究開発を3段階（1期：3～4年、2期：3～4年、3期：3年）に区分し、各期における具体的な研究内容（要素技術や手法、研究内容の新規性・独創性等について記述）
  - ②関連分野における国内外の研究開発動向(国際的な研究水準からみた我が国の現状、当該分野における我が国の優位性等について記述)
  - ③研究開発の必要性・重要性・将来性（ネットワーク研究拠点において取り組むことにより得られるメリット、単独の研究機関では対応できない理由等について記述）
  - ④研究開発の妥当性・実現可能性

### (4) 人材育成プログラムの策定

(記述内容)

- ・ 以下の視点について具体的に記述
  - ①人材育成プログラムの実施機関名及び参加形態（具体的な連携・協力の態様等）並びに各機関の役割
  - ②人材育成の具体的な達成目標（育成しようとしている具体的な人材像等）
  - ③人材育成のための具体的な仕組み（育成対象者、育成手法、教育カリキュラム等）
  - ④育成された人材の活用方策（育成された人材に想定されるキャリアパス等）

### (5) 既存光源等の供用

(記述内容)

- ・ 以下の視点について具体的に記述
  - ①供用する既存光源等の保有機関名及び設備・装置の種類、性能等の概要
  - ②想定される利用研究等のニーズ
  - ③ユーザー研究者等のニーズに対応できる支援体制(技術支援者数、提供可能な技術、利用者の採択方法、課金徴収する場合はその仕組み等について記述)

### (6) 波及効果

(記述内容)

- ・ ネットワーク研究拠点により見込まれる他の研究機関等への波及効果について記述

### 3. 拠点構想における達成目標（ミッションステートメント）

（記述内容）

- ・ 拠点構想の実現に当たって、第1期終了時（3～4年目）、第2期終了時（7年目）及び終了時（10年目）の具体的な達成目標について記述

\* 達成目標（ミッションステートメント）の詳細は、様式4に記述していただきます。

### 4. 実施体制

（記述内容）

- ・ 以下の視点について具体的に記述

- ①実施体制の適切さ（参画機関における責任体制及び役割分担、ユーザー研究者や産業界のニーズを汲み上げる仕組み、参画機関間の有機的連携を図る手法等）
- ②幹事機関の適性（当該機関が拠点構想全体を取りまとめる幹事機関として適当である理由）
- ③幹事機関の拠点責任者及びその他の参画機関の研究責任者の適性（マネジメントの実績等から当該者が拠点責任者及び研究責任者として適当である理由）

\* 実施体制を表す図は、様式5に添付していただきます。

（その際、意思決定プロセスやマネジメント構造がわかるようなものとして下さい。）



(様式4)

## ミッションステートメント

○提案構想名 「  
○拠点責任者名 「  
○幹事機関名 「  
○参画機関名 「  
(実施予定期間： 平成20年度～平成○年度)

### (1) 拠点構想の概要

- ・ 連携・協働体制の下でどのような研究開発・人材育成等を行うのか、それによりどのような拠点を形成するのかについて簡潔に記述して下さい。

### (2) 第1期終了時(3～4年目)における具体的な目標

- ・ 可能な限り定量的に記述して下さい(具体的な目標があればあわせて記述)。

### (3) 第2期終了時(7年目)における具体的な目標

- ・ 可能な限り定量的に記述して下さい(具体的な目標があればあわせて記述)。

### (4) 終了時(10年目)における具体的な目標

- ・ 可能な限り定量的に記述して下さい(具体的な目標があればあわせて記述)。

### (5) 実施期間終了後の取組

- ・ 本事業による支援終了後、新たに構築したネットワーク研究拠点をどのようにして維持、運営、発展させようとするのかについて記述して下さい。

### (6) 期待される波及効果

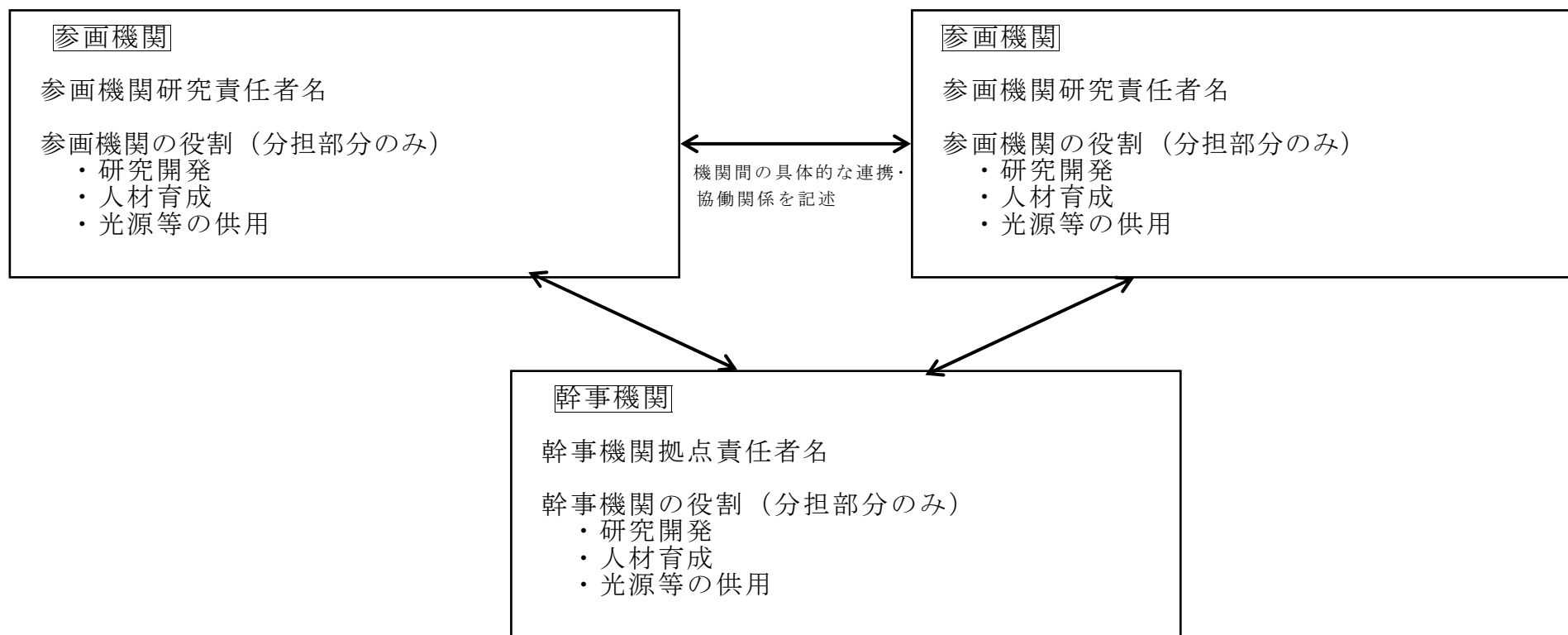
- ・ イノベーション創出や光の革新的利用研究実現のモデルとして、他の組織や研究機関に及ぼす波及効果について、期待される事項を簡潔に記述して下さい。

\* 目標については、可能な限り定量的な目標を記述して下さい。

(様式5)

### 実施体制図 (A4用紙1枚)

- 提案構想名 「 」
  - 拠点責任者名 「 」
  - 幹事機関名 「 」
  - 参画機関名 「 」
- (実施予定期間： 平成20年度～平成○年度)



注) 幹事機関以外の参画機関が3機関以上の場合には、欄を追加してすべての機関について記載して下さい。

\* 別紙にて、幹事機関の拠点責任者及びその他の参画機関の研究責任者が担う役割や連携・協働体制について記述していただきます。

(様式5－別紙)

### 拠点責任者

○提案構想名 「 」  
○総括責任者名 「 」  
○提案機関名 「 」  
○参画機関名 「 」  
(実施予定期間： 平成20年度～平成○年度)

以下の項目ごとに整理して記述して下さい。なお、枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載して下さい。

#### 1. 拠点責任者の役割・裁量権

(記述内容)

- ・ 拠点構想における拠点責任者の役割と権限について記述

#### 2. 拠点責任者と研究責任者との間の連携

(記述内容)

- ・ 拠点構想における提案機関（幹事機関）の拠点責任者とその他の参画機関の研究責任者との間の連携体制について記述

(様式6)

## 拠点計画（委託費充当分）

○提案構想名 「  
○拠点責任者名 「  
○幹事機関名 「  
○参画機関名 「  
(実施予定期間：平成20年度～平成○年度)

以下の項目ごとに整理して記述して下さい。なお、枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記載して下さい。

### 1. 拠点計画の概要について

(記述内容)

- ・ 本委託費により実施しようとする業務とその概要について記述

(記入例)

「…のため…の要素技術開発に不可欠な…を購入する。」

「…の研究のため…外国人を含めた若手研究者を雇用する。」 等

### 2. 拠点構想との関係について

(記述内容)

(1) 拠点計画（委託費充当分）が拠点構想の実現にどのように資するかについて、具体的に記述

(2) 拠点構想の実現に向けて、拠点計画以外に、各参画機関が自らの資金や外部資金を活用して実施する取組がある場合は、その内容及び拠点計画との関係についても記述

(様式7)

拠点構想及び拠点計画の年次計画概要

○提案構想名 「  
 ○拠点責任者名 「  
 ○幹事機関名 「  
 ○参画機関名 「  
 (実施予定期間： 平成20年度～平成○年度)

項目	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目	9年度目	10年度目
拠点構想 (○○機関) ・・・の導入 ・・・の実施		←→	←→							
(○○大学)										
(○○機関)										
拠点計画 (○○機関) ・・・の導入のうち△△ ・・・の実施のうち△△		←→	←→							
(○○大学)										
(○○機関)										

(様式8)

### 所要経費の見込み

○提案構想名 「  
○拠点責任者名 「  
○幹事機関名 「  
○参画機関名 「  
(実施予定期間： 平成20年度～平成〇年度)

(単位：百万円)

項目	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目	9年度目	10年度目	総計
本委託費 (○○機関)											
1. 設備費											
2. 人件費											
3. 運営費											
4. 間接経費											
(○○大学)											
(○○機関)											
委託費計											
それ以外の経費 ・運営費交付金 ・○○資金 ・競争的資金の間 接経費 <sup>注2</sup>											
それ以外の経費合計											
総計											

注1) 所要経費について、公募要領9.(1)費用を参考にして経費別に見込額を記入して下さい。(予算費目ごとではなく、大まかな内訳で可。)

2) 競争的資金の間接経費には、本提案の間接経費は含まれません。

(様式9)

## 研究機関データ

- 提案構想名 「  
○拠点責任者名 「  
○幹事機関名 「  
○参画機関名 「  
(実施予定期間： 平成20年度～平成○年度)

以下のデータを記載して下さい。いずれの項目も概略で構いません（詳細なパンフレット等の添付は不要です。）。

### 1. 幹事機関

- (1) 在籍する研究者総数（概数で構いません。）  
うち、当該提案構想に携わる研究者数（概数で構いません。）

研究者総人数（人）	
当該提案構想に携わる研究者数（人）	

### (2) 財務の状況

- ・ 予算額の推移（平成16～18年度の総決算額）
- ・ 総決算額のうち、外部資金（機関全体として公募型資金等により機関外部から獲得した研究開発に係る補助金、委託費等）の総額の推移（平成16～18年度の総決算額ベース）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総決算額（億円）			
外部資金の獲得総額（決算ベース、億円）			

(3) 他制度での助成等の有無（申請中、申請予定も含む）

幹事機関における、機関としての重複提案について記述して下さい（科学技術振興調整費の「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」など拠点形成に関する助成のみ記述）。

他制度における助成

制度名	課題名	実施期間	金額 (千円)	本事業との 相違点・関連性

- 注1) 実施期間中の場合は、「金額」については期間を明記して下さい。  
2) 記載内容に変更が生じた場合は、遅滞なく提案書類提出先に報告して下さい。  
3) この報告に漏れがあった場合、採択の決定の取り消し等、しかるべき措置を行います。



## 2. 幹事機関以外の参画機関

機関名：「 \_\_\_\_\_ 」

- (1) 在籍する研究者総数（概数で構いません。）  
うち、当該提案構想に携わる研究者数（概数で構いません。）

研究者総人数（人）	
当該提案構想に携わる研究者数（人）	

### (2) 財務の状況

- ・ 予算額の推移（平成16～18年度の総決算額）
- ・ 総決算額のうち、外部資金（機関全体として公募型資金等により機関外部から獲得した研究開発に係る補助金、委託費等）の総額の推移（平成16～18年度の総決算額ベース）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総決算額（億円）			
外部資金の獲得総額 （決算ベース、億円）			

※幹事機関以外の参画機関が複数ある時は、すべての機関について記載して下さい。

### <参画機関が民間企業の場合の様式>

企 業 名	〇〇株式会社
代表取締役氏名	委託太郎
主たる業務	
資本金（百万円）	△△（百万円）
従業員数（人）	×××（人）
直近3年間売上高 平成16年度 平成17年度 平成18年度	〇〇億円 ▲▲億円 □□億円

(様式 10)

### 研究者データ

(様式 5 の実施体制図に明記された拠点責任者及び研究責任者について個々に作成)

氏名(ふりがな)		生年月日	西暦 19 年 月 日 ( 歳) *年齢は 2008 年 4 月 1 日現在
氏名(漢字)			
所属機関	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇	
	機関名 所属部署	TEL. FAX. E-mail:	
	役職名		
研究歴	最終学歴	昭和〇〇年 〇〇大学〇〇学部卒業	
	学位	昭和〇〇年 博士号(〇〇学)取得(〇〇大学)	
	主な職歴 と 研究内容	(記入例) 昭和〇〇年~〇〇年 〇〇大学〇〇学部助手 〇〇〇〇〇について研究  昭和〇〇年~〇〇年 〇〇大学〇〇学部 研究員 〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究に従事  平成〇〇年~〇〇年 〇〇大学〇〇学部教授 〇〇〇〇〇について研究	

\* 別紙にて、業務従事率(エフォート)及び研究成果等に関する情報についても記述していただきます。

(様式 10-別紙 1)

業務従事率（エフォート）に関する情報

氏名			1年間の全業務時間 毎月平均〇〇時間 × 〇〇ヶ月		
	制度名	課題名	実施期間・規模	提案課題との仕訳、関連性	エフォート
本提案課題	—	—	—	—	〇%
公的競争的資金 (独法によるものを含む。)	〇〇	「〇〇」(代表者)	H19~H21 〇百万円/年 (申請中)		〇%
民間等からの競争的資金					〇%
その他の公的研究助成					〇%
経常的業務					〇%

(記載要領)

1. 既の実施しているもの及び現在申請中のものを漏れなく記載して下さい。記入欄が不足する場合は、記入欄を付け足して下さい(複数枚になっても結構です)。
2. 「課題名」の欄には、代表者として従事しているのか、分担者・参画者として従事しているのかわかるように記載して下さい。
3. 申請中のものについては、「実施期間・規模」の欄に「申請中」である旨明記して下さい。
4. 「実施期間・規模」の実施規模については、代表者として従事している場合は全額、分担者・参画者として従事している場合は実際に経費を受給している額を記載して下さい。
5. 「エフォート」は、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要な時間の配分率(%)」という考え方で決定して下さい。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。
6. 「公的競争的資金」については、科学研究費補助金、厚生労働科学研究費補助金、戦略的創造研究推進事業、科学技術振興調整費等の公的競争的資金について記載して下さい。
7. 「民間等からの競争的資金」については、公的競争的資金のほか、研究者が公募により競争的な環境から獲得できる外部資金のうち、1千万円を超えるものについて記載して下さい。
8. 「その他の公的研究助成」については、プロジェクト型研究等として国又は独法から獲得している研究助成等について記載して下さい。
9. 「経常的業務」については、経常的に行っている研究や業務(講義、事務等)について、その内容を記載して下さい。

- 【注意】 ①記載内容に変更が生じた場合は、遅滞なく提案書類提出先に報告して下さい。  
 ②この報告に漏れがあった場合、採択の決定の取り消し等、しかるべき措置を行います。

(様式 10－別紙 2)

## 研究成果等に関する情報

### 1. 論文・著書等

1) 提案課題の内容に関連するものに限り、これまでに発表した論文（査読制度のあるジャーナル掲載に限る）、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く）等を新しいものから順に発表年次をさかのぼって記述して下さい。

2) 主要なものを選定し、1 ページ以内に収めて下さい。

#### ①論文

（論文名、著者名、投稿誌名、巻（号）、最初の頁、発表年(西暦)）

#### ②著書

（タイトル、著者、著書名、最初の頁、出版社、出版社の所在都市名、発表年(西暦)）

#### ③学協会誌等

（タイトル、著者、学協会誌等名、巻（号）、最初と最後の頁、発表年(西暦)）

### 2. 特許等（申請中のものについては内数として括弧内に記述）

国内特許	件（ 件）	国外特許	件（ 件）
------	-------	------	-------

・提案課題の内容に関連する主要な特許について、特許名、特許番号、取得または出願年月日を記述して下さい。

（出願・公告等の日付、「発明の名称」、発明者氏名、出願人名、国名、特許等の番号・種類の順）

1. xxxx. xx. xx、「□□□□」、□□□□、□□□□、□□、特願 0000-00

### 3. 受賞歴、表彰歴

・主要なものについて、年月日、受賞名等を記述して下さい。

（受賞者名：「件名」、受賞等年月日等の順）

1. □□□：「□□□□」、xxxx. xx. xx